

第33回 理科サロン

化学史の楽しみ

界面科学の黎明期に活躍した2人の女性科学者



京都大学名誉教授

廣田 襄氏

初めに自己紹介をかねて、私がなぜ科学史に興味をもち、科学史のどんな点に興味をもつのかについてお話しします。

科学史は興味あるエピソードに満ちていますが、その中から今回は**界面科学の黎明期に活躍した二人の女性科学者**、Agnes PockelsとKatherine Brodgettに焦点を当て、彼女らが困難な状況のもとでどのようにして偉業を達成し、彼女らを助けたRayleigh卿やLangmuirはどんな人物であったかを紹介します。

傑出した女性科学者はキュリー母娘だけではありません。他の女性科学者についても触れ、これからの女性科学者の活躍に期待したいと思います。

* 廣田先生は2000年に定年退職後、科学史（化学史）の勉強を始められ、2013年に「現代化学史」を2016年にはその英語版を出版し、化学史学会でも発表されています。

日時：4月26日（金）

午後6時－8時 講演会
午後6時半までは廣田先生
を囲んで夕食（*）

場所：けやきの会事務所

豊中市千里園2-1-37
（電話 06-6857-2562）

参加費：無料

* 夕食は各人で買ってご持参下さい。
飲み物は用意しています。また、
時間ぎりぎりになられる方のために
軽食を用意しています。

